平成30年度第1回神奈川支部評議会

資料3

神奈川支部　第2期データヘルス計画（概要）

平成30年7月18日

1. 神奈川支部の現状

①適用状況

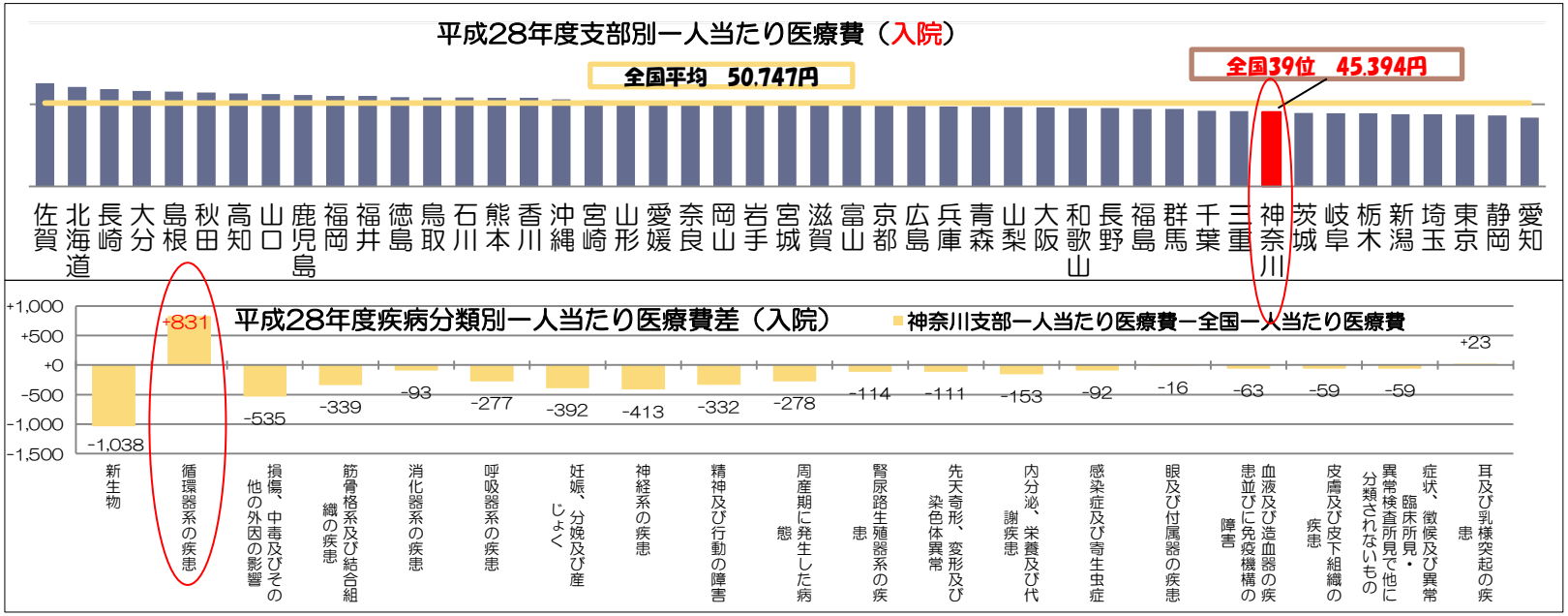
適用事業所数・加入者数ともに全国第3位の伸びとなっています。

（平成29年11月）

	適用事業所数	被保険者数	被扶養者数	加入者計	平均標準報酬月額
平成29年11月	111,740 事業所	939,788 人	610,885 人	1,550,673 人	317,958 円
前年比（全国平均）	+11.9%（+6.7%）	+6.5%（+3.7%）	+3.6%（+0.7%）	+5.2%（+2.5%）	+0.7%（+0.9%）
伸び率順位	全国 3 位	全国 4 位	全国 2 位	全国 3 位	全国 40 位

②医療費情報

入院医療費は全国平均以下となっていますが、循環器系疾患の入院にかかる医療費は全国平均比＋８３１円となっています。

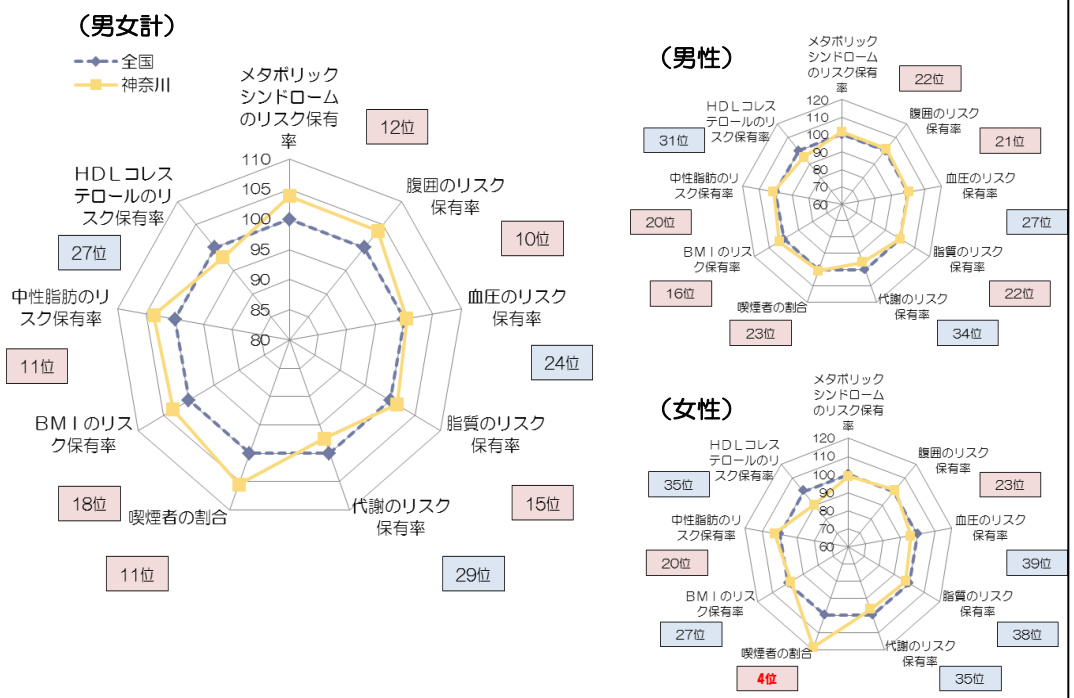


③健診結果

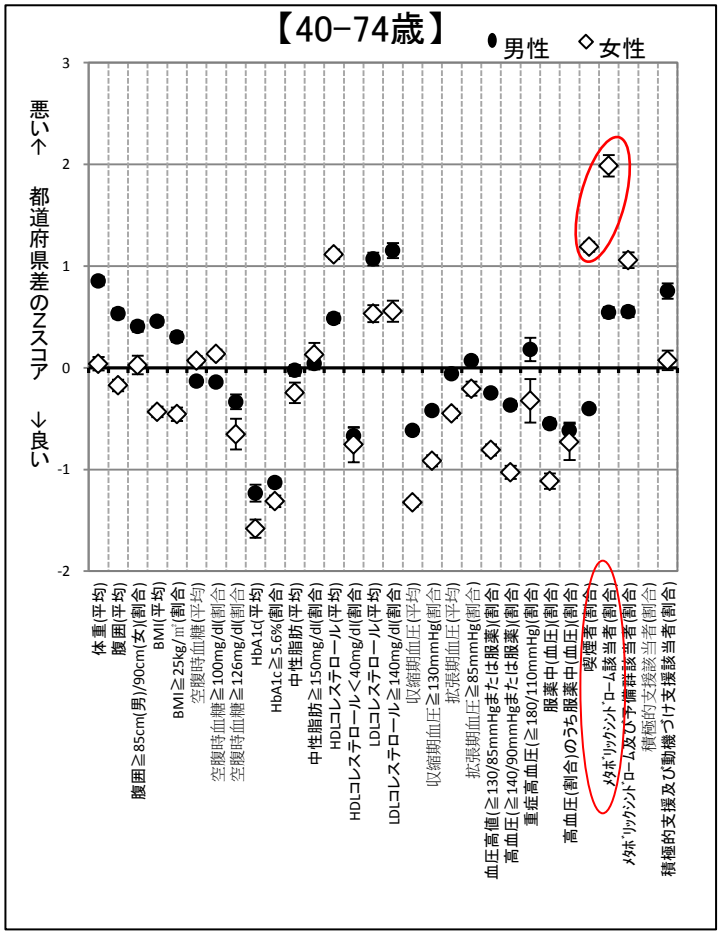
≪リスク保有率≫
男女別にみた場合、女性の喫煙率以外は突出しているところは見受けられませんが、男女計でみると、9項目中6項目で全国18位以上の高いリスクを保有しています。

≪健診データ≫
女性の喫煙率及びメタボリックシンドローム該当率が高い状況にあります。

平成27年度健診受診者リスク保有率



特定健診データの神奈川支部特徴の要約（平成27年度）



2. 神奈川支部のデータヘルス

上位目標【重大な疾患の発症を防ぐ（10年以上経過後に達成する目標）】

○ 循環器系疾患の1人当たり医療費を全国平均以下とする。

神奈川支部の１人当たり入院医療費は全国的に低い水準（全国39位）にあります。このような状況の中、疾病分類別に１人当たり入院医療費を見ると、唯一循環器系疾患の医療費が全国平均を上回っています。

神奈川支部では加入者の皆様の健康寿命の延伸、保険財政健全化のため、循環器系疾患の1人当たり医療費を全国平均以下とするよう取組みます。

中位目標【上位目標を達成するため、6年後に達成する目標】

○ メタボリックシンドローム該当者の割合を全国平均以下にする。

○ 健診のリスク保有率を全国平均以下にする。

神奈川支部の健診結果を見ると、メタボ該当者の全国比は、男性が１．０７倍、女性が１．３６倍と高い状況にあります。

また、リスク保有率を見ると、①メタボリスク保有率：全国１２位、②腹囲リスク保有率：全国１０位、③脂質リスク保有率：全国１５位であるなど、多くの項目で全国的に高い(悪い)順位となっています。

神奈川支部では、保健事業の推進により、加入者の皆様のこれら検査値等が改善するよう取組みます。

3.「上位目標」、「中位目標」達成に向けての取組み

①特定健診・特定保健指導の推進

【目標】

○ 特定健診受診率（被保険者）を51%*以上とする。
○ 特定健診受診率（被扶養者）を20%*以上とする。
○ 特定保健指導実施率を14.5%*以上とする。

- 神奈川支部の健診受診率は５割を切っており、半数以上の方の健康状態が把握できていません。また健診後の保健指導の実施率も全国最下位となっており、健診により発見されたリスクへのフォローができていない状況です。

- 加入者の皆様の健康状態を把握し、健診により発見されたリスクに対し的確にフォローするため、保健事業の中核となる特定健診・特定保健指導の実施率を着実に向上させる取組みを行ってまいります。

＊　平成29年度実績　特定健診被保険者 49.4%、特定健診被扶養者 21.0%、保健指導 4.5%

具体的な取組

① 特定健診受診率（被保険者）向上のための取組
- 加入者数が急増していることに着目し、新規に加入した事業所への受診勧奨を強化します。
- 健診機関ごとに勧奨による受診件数目標を設定し、達成状況に応じて対価を支払うなど健診機関の取組み強化を促すことで生活習慣病予防健診実施率、事業者健診データの取得率向上を図ります。
- 神奈川労働局や商工会議所と連携し事業者健診データの取得勧奨を実施します。
- 地理情報システム（GIS）を活用し、未受診者に対し居住の近隣で実施する会場健診の案内を送付します。

② 特定健診受診率（被扶養者）向上のための取組
- 未受診者対策として協会主催の自己負担無料集団健診（会場健診）を実施します。
- 昨年、一昨年に上記集団健診を実施した人を対象にオプショナル検査等を含めた集団健診（有料）を実施します。
- 市町村が行うがん検診との連携強化を図るよう、県、市町村に働きかけを行います。
- 被保険者と同様の生活習慣病予防健診を提供し、受診拡大を図ります。

③ 保健指導実施率向上のための取組
- 健診当日に保健指導ができる実施機関を確保し、保健指導の利用拡大を推進します。
- 委託によるセミナー形式の特定保健指導の展開を図ります。
- 不適切な食習慣の傾向がある事業所へ食育教育を実施します。

3.「上位目標」、「中位目標」達成に向けての取組み

②重症化予防対策

【目標】

○ 未治療者に対する受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を15%*以上とする。
○ 糖尿病性腎症患者の人工透析移行を30名回避する。

- 健診の結果、治療が必要と判断された場合、早期に医療機関に受診すれば重症化を防ぐことができます。このように医療機関に受診されていない方に対して受診を促し、確実に医療につなげることで生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費適正化及びＱＯＬの維持を図ります。
- 糖尿病患者にかかりつけ医と連携して保健指導を実施し、患者が自分で体調管理できるよう促します。結果として患者のＱＯＬを高め、人工透析への移行等、糖尿病性腎症の重症化を遅らせます。

＊　平成29年度実績　10.9%

具体的な取組

① 未治療者への受診勧奨
- 生活習慣病予防健診受診者のうち血圧・血糖に関し検査値が要治療域と判断されながら医療機関を受診 していない加入者に医療機関への受診を勧奨する文書を送付します（一次勧奨）。
- 一次勧奨対象者のうち、より重症域と判断される加入者に医療機関への受診勧奨を電話・文書で行います（二次勧奨）。

② 糖尿病性腎症重症化予防
- 糖尿病患者にかかりつけ医と連携しながら、糖尿病性腎症重症化予防指導プログラムを実施して患者が自分で体調管理できるよう促す取組みを行います。

3.「上位目標」、「中位目標」達成に向けての取組み

③健康経営への取組

【目標】

○ 健康企業宣言事業所を300件（50件/年）*増やす。

- 従業員の健康管理や健康づくりを「投資」と捉え、企業が従業員の健康増進に取組む「健康経営」が注目されています。神奈川支部では健康経営をサポートし、企業と一緒に職場の健康づくりに取組みます。

*平成28年３月現在　98件

具体的な取組

- かながわ健康企業宣言事業所に対し、職場の健康づくりに対する支援を行ってまいります。
- 様々な広報を活用し、かながわ健康企業宣言事業所の更なる拡大を図ってまいります。
- 事業所訪問及び取組内容の聞き取りを実施して、好事例等の情報を他の事業所へ展開します。

④その他の保険事業

【目標】

○ 喫煙者の割合を30%*以下にする。

- 神奈川支部は喫煙者の割合が他支部加入者と比較して高い（特に女性は全国第４位）状況にあります。禁煙により上位目標に掲げている「循環器系疾患」のリスクは減少すると考えられるので、神奈川支部では喫煙者数の割合の減少を図る取組みを行います。

*平成28年度実績　35.9%

具体的な取組

- 健診受診時に禁煙に関するリーフレットを配布します。
- 保健指導の際には、喫煙者に対して必ず短時間支援を実施します。
- 禁煙講座を紹介するなど禁煙をサポートします。
- 事業所訪問及び取組内容の聞き取りを実施して、好事例等の情報を他の事業所へ展開します。